

# 建築デザイン

環境デザイン学科 建築デザインコース

**TW** テキスト作品科目

**TX** テキスト特別科目

**WS** ウェブスクーリング科目

**S** スクーリング科目

**必** 必修科目

**選** 選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

## 建築デザインコース専門教育科目

STEP①

基礎技術の習得と、名建築の魅力を知る。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
環境デザイン概論 [建築]	スターター	<b>S</b>	<b>選</b>	1		[見てみよう、調べてみよう、描いてみよう]建築デザインコースの学習を効果的に進めるために、実際に課題に取り組みながら、1年次テキスト科目等について解説を行う。
デザイン基礎1(建築)	作図基礎	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		[ドリル教材に学ぶ]建築を学ぶにあたって求められる基礎的な素養、すなわち平面図形の作図や立体造形の把握を身につける。
デザイン基礎2(建築)	立体構成と模型	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		[巨匠模型]建築を学ぶにあたって求められる基礎的な感覚、すなわち立体造形のバランスや美しさを名作建築の模型制作を通して学ぶ。
環境デザイン演習 [建築] I-1	空間特性と表現	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		[名建築を語る]古今東西の名作建築を題材に、建築図面から空間構成の概念モデルの作成を行うことで設計理念や手法を理解する。平面図、断面図などから空間構成のコアとなる要素を抽出しまとめる。
環境デザイン演習 [建築] I-2	トレース	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		[名建築に倣う]名作建築を題材に、手描き製図で建築図面のトレースを行うことで設計理念や手法を理解する。トレースを通して図面表現の基本や手法を学ぶ。
環境デザイン [建築] I-1	フィールドワーク	<b>S</b>	<b>必</b>	1		[空間と環境]名作建築や都市空間を題材に、実際の街並・建築空間の様子や魅力を考察する。空間構成のコアとなる設計理念や手法を理解することをめざす。
環境デザイン [建築] I-2	ドローイング	<b>S</b>	<b>必</b>	1		[次元変換の試み]日常生活の周囲にある建築空間を題材に、よく観察しフリーハンドなどの手法で描写することで空間の成り立ちや構造を発見し理解する。
環境デザイン [建築] I-3	立体表現	<b>WS</b>	<b>必</b>	1		[模型基礎]名作建築を題材に図面から模型を制作し、建築デザインに必要な立体表現の基礎を身につける。模型制作を通して名作建築の設計理念や建築空間について理解を深める。
環境デザイン [建築] II-1	空間表現1	<b>S</b>	<b>必</b>	1		[言葉と空間]言葉から空間構成、そして建築設計へと発展させるプロセスについて森の中の別荘の設計を通して理解する。
環境デザイン [建築] II-2	平面表現	<b>S</b>	<b>必</b>	1		[美しいドローイング]古今東西の名作建築を題材に、手描き製図で建築図面のトレースを行うことで設計理念や手法を理解する。建築デザインで必要な平面表現の技法を身につける。
環境デザイン [建築] II-3	空間表現2	<b>S</b>	<b>必</b>	1		[コートハウス]平面的な空間構成に着目して豊かな住空間を構想し、それを図面で表現することで設計の基礎と製図法を身に付ける。

## STEP②

## 空間を構成する手法と、考え方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

2年次

環境デザイン基礎1 〔建築〕	住宅設計2	TW	必	2		[構成・7層をもつワンルームの家]立体造形から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。
環境デザイン基礎2 〔建築〕	一般構造	TW	必	2		[名建築に倣う2]名作建築になり建築詳細図をトレースすることで建築一般構造について学ぶ。
環境デザイン演習 〔建築〕II-1	住宅設計1	TW	必	2		[仕事と庭と部屋]機能から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。
環境デザイン演習 〔建築〕II-2	住宅設計3	TW	必	2		[集住体を考える]部分構成から全体構成、そして建築設計への発展に着目して集合住宅の設計に取り組む。
環境デザイン 〔建築〕III-1	寸法1	S	必	1		[スケールスタディ]寸法や単位空間から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕III-2	環境1	S	必	1		[環境をかたちにする住宅編]機能から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕III-3	集住	S	必	1		[ドミトリー]立体造形から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕IV-1	住宅架構	S	必	1		[住宅架構のスタディ]木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造などの各種建築構法について、屋根・床・壁・天井など建築一般構造に関する基本的事項を身につける。
環境デザイン 〔建築〕IV-2	建築総合概論	WS	必	1		[現代の建築を知る]2000年代以降、現代において建築家がどのような取り組みを行い、どのような空間を創造しているのか、複数の建築家の講義により知見を広げる。
環境デザイン 〔建築〕IV-3	建築設計意匠論	WS	必	1		[建築の成り立ちを探る]地域の制度・気候・文化・風習などと結びついた建築を題材に、現代において立地環境に固有の条件に応える建築を構想するための知見を得ると同時に、その設計手法について学ぶ。

## STEP③

## 多様な環境の読み方や、プログラムの組み立て方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

3年次

環境デザイン演習 〔建築〕III-1	フィールドスタディ	TW	必	2		[地域のコミュニティセンター_敷地の提案]都市・建築空間を地域の人々の居場所として捉え、それらを構成する要素やプログラム、そこで行われるアクティビティなどに着目して場所の特性を読み解き、その場所に求められる建築を提案する。
環境デザイン演習 〔建築〕III-2	複合施設	TW	必	2		[地域のコミュニティセンター_設計の提案]建築を取りまく都市状況、場所性との関係を理解して複合施設の設計に取り組む。スタディを繰り返し案を練り上げ設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン 〔建築〕V-1	風景	S	必	1		[祈りの空間]建築を取りまく風景との関係を理解して祈りの空間の設計に取り組む。設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン 〔建築〕V-2	環境2	S	必	1		[環境をかたちにする公共編]中規模公共建築の計画プロセスについて多角的な視点で読み解き、実際に空間体験を通して理解を深める。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
環境デザイン [建築] V-3	公共空間の特性	WS	必	1		[未来のパブリックスペース]国内外の図書館、美術館、教育施設などの公共的な空間を取り上げ、歴史的変遷、社会における役割や特徴を踏まえた上で、未来のパブリックスペースを考える契機を得る。
環境デザイン [建築] V-4	風景と構成	S	必	1		[パーサージュのある図書館]街の界隈性を理解して図書館の設計に取り組む。設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン [建築] V-5	寸法2	S	必	1		[となりの美術館]建築家の設計した美術館の分析を通して美術館設計の基礎を学んだ上で、小規模な美術館を設計し、その内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン [建築] V-6	架構	S	必	1		[大きな屋根のある小さな町の駅]空間を支える架構に着目して公共空間の設計に取り組む。大架構の特性を活かした場を設計して模型にまとめる。

STEP④

建築を通してできることを、表現し伝える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

4年次

環境デザイン演習 [建築] IV	卒業制作	TX	必	4		自ら身近な問題点等を発見し、その解決を建築空間によって提案することで、社会に対して発信する力を養うことを目標に、卒業制作に相応しいテーマを設定し、プログラムを構築して図面や模型写真などで表現し、ウェブポートフォリオとしてまとめあげる。
卒業制作	ディプロマ	S	必	6		大学生活の集大成および学習の総まとめとして、公共性の高い建築の設計を行う。建築家として社会に提案する姿勢を持って、コンセプト・空間・機能・構造等を総合的に構想し、完成度の高い作品にまとめて、発表する。

# 環境デザイン学科

 テキストレポート科目  選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

## 環境デザイン学科専門教育科目

環境デザイン学科では、コースの枠を越えて自由に選択することのできる科目群があります。

※各コースの必修科目もあります。

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
都市概論		 ※	2	有	都市は個々の建築の集積であり、個々の建築は都市を前提条件として立ち上がる。建築はつくれるもの(完全に制御し得るもの)であり、都市はできていくもの(完全に制御し得ないもの)もある。いずれにしても建築と都市とは密接な関係にあるが、この授業では、都市の側から建築を観察し、建築のこれまでの成り立ち、これからの可能性について考察する。 ※建築デザインコース必修
住宅概論		 ※	2	有	湿潤多雨、高温、残雪など気候への対応、地震への技術的対応、芸術の導入や社会・制度の変化における住宅様式の転用や変容など、第二次世界大戦後のいわゆる戦後小住宅の時代にまで綿々とつながる日本住宅の工夫と変遷を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史1(近代)		 ※	2	有	科学技術や抽象芸術の発展といった社会や文化の大きな変化が、建築にどのような影響をもたらしたか、逆に建築の大きな変化が社会や文化にどのような影響をもたらしたか、について学ぶ。また近代では、建築家が次々に新しい理念や具体的なあり方を示し、大きな役割を果たすようになった。その建築家の動向と作品の特徴を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史2(西洋)		 ※	2	有	ヨーロッパの建築の時代様式をガイドとして、古代ギリシャから19世紀までを概観する。各時代様式の特質・理論、代表的建築・建築家とそれらの変遷の過程を学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築史3(日本)		 ※	2	有	日本の建築と都市の歴史を通して、伝統的建築に親しみながら広く知識を得るとともに、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・時間的変容を遂げたのかを学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築環境工学		 ※	2	有	建築物の光環境、日射環境、空気環境、環境音環境、熱環境、湿気環境などの基本事項を確実に理解し、建築における環境工学の課題や重要性を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築設備		 ※	2	有	建築設備に関する基礎的な原理や技術を理解し身につける。電気設備、衛生設備、空調設備の基本システムを習得し、照明・衛生器具・空調負荷の基礎を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築材料		 ※	2	有	建物がどのような材料で形づくられていて、それがどのような現象と背景を併せもつかを理解する。また、現存する建物から創意工夫や試行錯誤の歴史を読みとり、想像することを通じて未来的な建物をつくりだす力を養う。 ※建築デザインコース必修
建築生産		 ※	2	有	企画、設計、施工、保全から構成される建築生産プロセスを対象にして、その活動を構成する主体(人や組織)とその役割について学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
建築法規	◆	選※	2	有	<p>建築家は、プロジェクト・マネージャーとしての設計全般について把握しながら計画をまとめていくことが求められる。これらの設計をまとめるにあたり、建築基準法及びその関連法令がどのような形で影響を及ぼしているかについて学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修</p>
構造力学1	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
構造力学2	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
造園史1(日本)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
造園史2(西洋)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画1	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画2	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論1	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論2	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
マーケティング概論	◆	選※	2	有	<p>企業のあらゆる活動に関連しているマーケット発想の基礎知識を学び、実際のマーケティングの流れや狙いを具体的に探ることで、各要素を理解する。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
プランディングデザイン論	◆	選※	2	有	<p>多様化する消費者の行動の中には、輝きを放つ商品を創造し、その価値を発信し続ける企業のプランディングデザインについて実例を通して学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論1	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論2	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
空間構成材料	◆	選※	2	有	<p>建築を構成する建築構造躯体として利用される構造材料と、建築の内部、外部を彩る内外装材について、その素材特質や安全性、さらには五感に関わる色彩やテクスチャなどの快適性などのそれぞれの特性を把握し、空間構成に使用される材料について学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
生活空間デザイン史	◆	選※	2	有	<p>住居空間を中心とした空間デザイン及びデザイン思想の変容について理解し、空間デザインに関わる諸現象、諸概念を基礎的な事柄から学び、設計活動に役立つ知識、教養を身につける。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>